

宮城いきいき便り



飲んで語り、 生きがい創出

会員制シニア居酒屋 オープン

NPO法人シニアサロン井戸端会議

4月中旬、仙台市中心部に、シニアを対象とした会員制居酒屋「井戸端会議」がオープンする。NPO法人シニアサロン井戸端会議が運営する、全国的にも珍しい居酒屋スタイルの交流サロンだ。飲んで語り、人の輪を広げ、シニアの豊かな人生経験や知識を生かした新たな活動を生み出すのが狙い。構想の中には、直営店の他、姉妹店の設置もあり、日本一のシニアのネットワークを目指す。

「井戸端会議」は、交通の便のいい市中心部に店を構え、地産地消にこだわった健康志向の手料理とともに、酒を提供する。価格は、気軽に利用してもらうためリーズナブルな設定とする。



退職後「従来の組織を離れ、社会に対して何が出来るか」を自らに問い、NPO活動に取り組む理事長の小林伸一さん(右)。間もなく古希を迎える専務理事の高橋義信さんは、事業主として現役で活躍中

良くなれる雰囲気づく

り。お店は交流に程よい大きさの20〜30席とし、当法人の理事がホスト役となってお客さん同士を紹介するなど、交流を促していきたい」と話す。

前身は、2012年春まで仙台駅東口で営業していた同名の会員制居酒屋。

約2年間、シニアの交流の場となり、新しい出会いの中から会社を立ち上げたり、伴侶を見つけて第2の人生を始めたという人もいた。会員制シニア居酒屋を運営するNPOは全国的にも珍しく、メディアに盛んに取り上げられた。

順調な滑り出しかと思われた矢先、東日本大震災が発生。約1年後に閉店する。その後、元会員からの多くの要望もあり、理事長の小林伸一さん(63)や高橋さんから現在の理事メンバー21人が中心となり、再開の準備を進めてきた。

日本を元気にする鍵

今回、居酒屋に隣接し、新たにイベントスペースを開設。セミナーや講演会を積極的に実施する他、会員が趣味



の集まりなどにも使えるようにする。

定年退職を迎えた世代は、社会や人との接点が希薄になりがちだ。小林さんは「居酒屋とイベントスペースを効果的に活用し、多彩な交流の場を提供したい」とアピールする。

多くの人が集まれば、多くの情報も集まる。組織化することでシニアの間に幅広いネットワークができ、雇用機会や起業のチャンスが生まれり、社会貢献活動への気運の高まりも期待できる。

「シニアには長年培ってきた人生経験や知識、技能がある。彼らがいかに社会で活躍し、生

き生きと暮らせるか。急速な高齢化が進む日本の社会や経済を立て直す一つの鍵になるのでは」と小林さん。居酒屋の収益は、会

も計画中です。目標は日本一のシニアのネットワークづくり。夢は大きい。

会員制シニア居酒屋 「井戸端会議」 4月中旬 オープン予定

場所/仙台市中心部
営業/月〜土曜14:00〜21:00(日曜、祝日休み)
入会資格/原則50歳以上
※会員同伴でビジター(年齢制限なし)は5人まで可
年会費/個人3000円、夫婦ペア5000円
※初回は会員カード発行料2000円が別途必要
入会申込・問/事務局・高橋☎022-722-6744
仙台市青葉区一番町2-7-12
グリーンウッド仙台一番町ビル6階

オープン情報など近況はフェイスブック「NPO法人シニアサロン井戸端会議」で。ホームページも近日開設

総合相談センターからのお知らせ 高齢者のための専門相談

内容=高齢者やそのご家族の方からの法律(相続・債務など)・医療(認知症など)の悩み事などの専門相談をお受けします。

相談は無料、面接相談で予約制です。

- 法律相談=毎月第1〜3金曜日(月2、3回)
午後1時30分〜3時30分(弁護士)
- 医療(認知症など)相談=毎月第4木曜日
午後1時30分〜3時30分(精神科医)

申し込み、問い合わせ

宮城県社会福祉協議会 総合相談センター

☎022-223-1165